



海難防止!!!

船長・船橋当直者が注意すべき事項

- 居眠り運航防止策の徹底と常時適切な見張りの励行
- 国際VHF(ch16)の常時聴守
(他局からの呼出しがわかるようボリュームをあげておきましょう。)
- 自動操舵装置と船橋航海当直警報装置の適正使用



眠気を
催さないために!



船舶所有者・運航者が配慮すべき事項

- 無理のない運航計画と配船配乗計画の策定
- 居眠りを防止するための船内環境づくり

航法等の遵守

- 厳重な見張りの励行
- 霧中信号の励行
- 自船の船位確認
- 国際VHF(ch16)の常時聴守



- レーダー及びAISの適切な使用
- 安全な速力による航行
- 安全な場所への早期避泊



気象・海象の早期把握



安全運航に係る マニュアルの遵守



海の
安全情報



備讃瀬戸
海上交通センター



来島海峡
海上交通センター

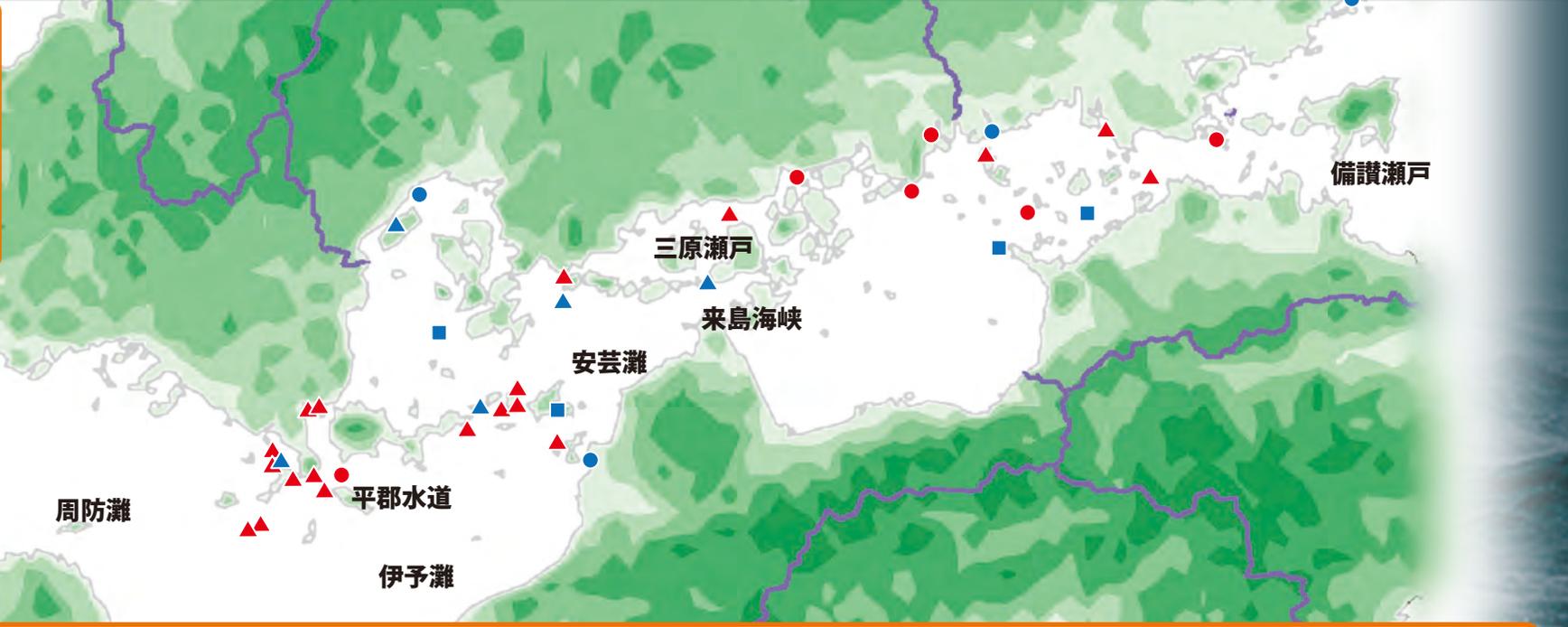
第六管区海上保安本部、海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議、(公財)海上保安協会広島地方本部、(公社)瀬戸内海海上安全協会、(公社)瀬戸内海小型船安全協会、中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会事務局広島事務所、中国地方海運組合連合会、四国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国地方支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部、船員災害防止協会四国支部、NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会中国地方本部、NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会四国地方本部

*このリーフレットは、(公社)瀬戸内海海上安全協会の助成により作製しています。

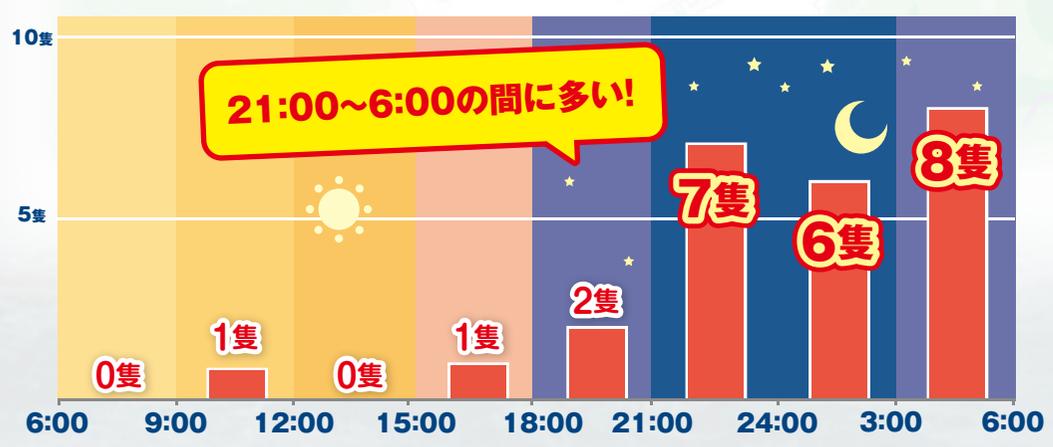
トピック 最近5年間(令和元年~令和5年)の居眠り霧海難発生状況

海難事故39隻

| | | |
|---------------|-----|---|
| 居眠りによる衝突 | 6隻 | ● |
| 居眠りによる乗揚 | 19隻 | ▲ |
| 視界制限下における衝突 | 5隻 | ● |
| 視界制限下における乗揚 | 5隻 | ▲ |
| 視界制限下における船位喪失 | 4隻 | ■ |



時間帯別 居眠り海難発生状況(25隻)



居眠り海難の防止には、当直者だけでなく船舶所有者・運航者の協力が必要な場合があります。

- 無理のない運航計画
- 安全運航に係るマニュアルの遵守

などにより、安全な運航を目指しましょう。

例年、春先から梅雨時期にかけて霧が発生しやすくなっています。視界不良時には

- 霧中信号の励行
- レーダー及びAISの適切な使用
- 安全な場所への早期避泊

を心がけましょう